

手をつなぐとも

# 等友

S  
60  
·  
10  
·  
1  
生

〒111-0041  
台東区元浅草  
2-10-17  
3841-2844  
浄土真宗  
勝龍山  
等覺寺  
住職  
朝倉馨



平成22年3月  
第93号

等覺寺墓地入り口の梅  
(平成22年2月24日撮影)

香  
くわす掌に  
悲も喜も  
春迎う  
みづの悲  
大慈悲  
心にさづ

## 住職から一言

私ははずかしい思いの中で今年九十六歳を迎えました。

先代住職の厳しい指導を受けつつ大学

を終え、遠い南の小島で海軍の一兵として過ごし、若い青木君と「寒いのにご苦労様」との一言でご縁が結ばれ帰還後も親身も及ばぬご縁を受けました。帰還後は丸の内の調査会社に入り、皇室関係からの調査を担当。北海道や九州地区にも行き（当時は宿泊するのにお米持参でした）色々知識を広め、先代住職亡き後、

六十余年努力して参りました。

その間ご門徒の皆様の優しい心遣いで、反省を繰り返している余生です。

私に関係した方々は皆仏様の代身だったのですね。

南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏・・・



# 新年会を開催

平成二十二年一月十七日に皆様とともに新年会法要を厳修いたしました。

今年も天気に恵まれて、多くの初参加の方も含め大勢のご参加の方々と大盛り上がり。その様子をちょっとご紹介させていただきます。

法要後のお食事会



名司会！宮原さん



大手品師 山口さんと  
助手(?)の青木さん



みなさんで豪華!?景品をかけ、  
ジャンケン大会



## 真宗・お寺 もの知りコラム 『お経つてなんのために読む?』

一般的に、お経のイメージといえば、

①死者に回向（ふりむけて与えること）

する、②お祈り（祈祷）、③精神修養をする、といったものが多いかと思います。しかしながら私たち浄土真宗においてのお経やお勤め（法事など）は、一切そういう意味合いを持ちません。

「えっ、じゃあ何のためのお経なの？」  
という声が聞こえてきそうですね。

浄土真宗のお勤めは、お釈迦さまの教え（浄土三部経）や親鸞聖人のよろこび

（正信偈）を繰り返し拝読することによつて、み仏の徳をたたえ、お念佛の信心をよろこばせていただく（報恩報謝、仏徳讃嘆）ものです。

ですので、私も法事などで正信偈を拝読する時は、750年も前に生きられた親鸞聖人がうけた感動を一緒に味わさせていただく喜びを感じております。



なお等覚寺には正信偈の現代語訳が書かれているものがありますので、ご興味ある方はお申し出ください。

※淨土三部経・・・「仏說無量壽經」、

「仏說觀無量壽經」、「仏說阿彌陀經」

※正信偈・・・親鸞聖人が著わした『教

行信証』の中にある漢詩。阿彌陀如来への絶対帰依と、現代まで教えを伝えてくださった七高僧への讃嘆が書かれている。



### ◎等友へのご懇志

小笠原さま・栗原さま・小林さま

浅井さま・築瀬さま・山口さま・

福原さま・加藤さま

(順不同)

他にも多数の方から等友へのご支援をいただいております。(申し訳ございませんが、お名前には漏れがあるかと存じます。おっしゃっていただければ次号以降に順次ご紹介させていただきたいと思います)

### ◎仏具料のご寄付

鳴海さま 三〇万円

ご披露

## 編集後記



みだれめせじぬれし。住職の孫の翔（しょく）だ。私せしれぬぞ、『**本社**のカリスマ』をしれぬつめたが、昨日末に退社をし、現地に来てからただくじになつめし。いだせどもこくづかの行事等にせ參加をせんこしたくておもしたが、いわからせ本格的になむ事の仕事をやつかしてこたがいへりといなつめたが、

いの等友の編集をやむにこたがいへりなりました。今の大もの絵・『**アーチ**』みおつたが、覗やくべつなつめたが、

末に退社をし、現地に来てからただくじになつめし。いだせどもこくづかの行事等にせ參加をせんこしたくておもしたが、

『**魔眼筆**』や『**魔眼筆**』とせむ知りかへれど、やむにこたがいへりと想こめたが、

メールアドレス

info@tokakuji.com

お願ここたし申す。わなむし、**釋迦**

（しやくしょく）とこの法印をこた

だしておつせが、いせで遇つぬ飯饅（パン）にしよつて吃（く）べたがゆ。

<http://www.tokakuji.com>

# 平成二十二年年回表

## 平成二十二年 等覚寺年間行事予定

一周忌	平成二十一年
三回忌	平成二十年
七回忌	平成十六年
十三回忌	平成十年
十七回忌	平成六年
二十三回忌	昭和六十三年
二十七回忌	昭和五十九年
三十三回忌	昭和五十三年
三十七回忌	昭和四十九年
四十三回忌	昭和四十三年
四十七回忌	昭和三十九年
五十回忌	昭和三十六年
七十回忌	昭和十六年
百回忌	明治四十四年

三月二十二日（月） お彼岸・永代経法要  
六月頃 等友旅行会

七月十八日（日）

盂蘭盆会

七月三十一日（土） 命のふれあいゼミナール  
(於 西照寺)

十月三日（日）

御遠忌お待ち受け大会  
(於 報恩寺)

十月二十四日（日） 報恩講

◎みなさまお誘い合わせの上、  
お気軽にご参加ください。